

第 31 回コカ・コーラ環境教育賞 文部科学大臣賞・環境大臣賞・財団賞(最優秀) および優秀賞受賞団体決定

- ◆活動普及部門 小学生 環境大臣賞
学校法人国本学園 国本小学校 (東京都世田谷区)
- ◆活動普及部門 中学生 文部科学大臣賞
金沢大学附属特別支援学校 (石川県金沢市)
- ◆企画・研究推進部門 コカ・コーラ教育・環境財団賞
北海道岩見沢農業高等学校 (北海道岩見沢市)
- ◆活動普及部門 小学生 優秀賞
プラネットリーダーズ山内エコクラブ (大阪府大阪市)
- ◆活動普及部門 中学生 優秀賞
劇団シンデレラ (愛知県名古屋市)

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団(所在地:東京都渋谷区、理事長:井辻 秀剛、以下当財団)は、環境保全・環境教育に関する顕著な活動への顕彰および環境保全・環境啓発・環境美化に寄与する新しい企画への支援をおこなう「第 31 回コカ・コーラ環境教育賞」(協力:読売新聞社、後援:文部科学省、環境省)の最終選考会および表彰式を 10 月 11 日(土)におこないました。

本年は、一次の書類選考で選ばれた全国の小学生から大学院生までの 17 団体(活動普及部門:9 団体、企画・研究推進部門:8 団体)による最終選考(プレゼンテーション)により受賞団体を決定いたしました。文部科学大臣賞・環境大臣賞・財団賞(最優秀)、受賞コメントは以下の通りとなります。



【活動普及部門(小学生) 環境大臣賞】

学校法人国本学園 国本小学校 (東京都世田谷区)

自分たちの取り組みがこんなに大きな賞を取れるなんて思ってもいなかったので、大変嬉しいです。この取り組みは自分たちだけで取れたものではなく、たくさんの地域企業の方やいろいろな地域住民の方たちと協力して取れたものだと思います。ありがとうございました。

【活動普及部門(中学生) 文部科学大臣賞】

金沢大学附属特別支援学校 (石川県金沢市)

学校としてできる範囲で取り組みを進めてきましたが、最初、子どもたちは清掃活動を通じた学習に対して、あまり乗り気ではありませんでした。しかし、活動を繰り返す中で、環境問題に対して自分たちで課題を見つけ、これからどのようにみんなに伝えていくかを考えられるようになり、大きな成長を感じています。今後も、いろいろな取り組みを外部の方に発信しながら、自分たちの力で課題解決をしていきたいと思います。(指導者コメント)

【企画・研究推進部門 コカ・コーラ教育・環境財団賞】

北海道岩見沢農業高等学校 (北海道岩見沢市)

受賞することができ、とても嬉しいです。これまで積み重ねてきた努力が認められたようで自信につながりました。今回の経験を糧に、これからも一歩ずつ成長していきたいと思います。この度はありがとうございました。

また優秀賞は、以下の団体が受賞しました。

【活動普及部門(小学生) 優秀賞】

プラネットリーダーズ山内エコクラブ (大阪府大阪市)

【活動普及部門(中学生) 優秀賞】

劇団シンデレラ (愛知県名古屋市)

活動普及部門 文部科学大臣賞、環境大臣賞受賞団体には各 30 万円、優秀賞受賞団体には 10 万円の活動助成金が贈られます。企画・研究推進部門 コカ・コーラ教育・環境財団賞受賞団体には 50 万円の活動助成金が贈られます。また、北海道夕張郡のコカ・コーラ環境ハウスに於いて、受賞団体が一同に会して交流を深め、自然を学ぶ体験学習会(2025 年 12 月 25 日～ 27 日)を実施します。尚、今回は最終選考会上で「環境ハウス賞」が設けられ、AQUA HOPE(宮城県農業高等学校)(宮城県名取市)と NPO 法人環境ボランティアサークル亀の子隊(愛知県田原市)の受賞が決定しました。両団体は 12 月 25 日～27 日のコカ・コーラ環境ハウス体験学習会に招待いたします。



【第 31 回コカ・コーラ環境教育賞 選考委員長 総評(抜粋)】

総合地球環境学研究所 教授、
公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 評議員 浅利美鈴

今回も多くの応募を全国からいただき、本当に感謝しております。おそらく、来年も頑張ろうという団体や、新たに頑張ろうという方々もライブ配信を見ていただいていると思いますので、この輪がますます広がっていることを感じております。

最近の調査結果を見ますと、日本人は全体に世界と比べると環境意識があまり高くありません。万博でもそういった感覚は痛感いたしました。一方で、世代間で見ると、実は十代の方だけ突出して環境意識が高いという結果も見られまして、今日プレゼンテーションをしていただいた皆さんは、ぜひその代表となって世の中をリードしていただきたいと思っております。

私たち研究者にも様々なメディアがあり、現代でしたら SNS など様々ありますが、フェイストゥーフェイスで伝えるということの力はやはり侮れない、ということも研究で見えておりますので、本日の体験や皆さんの常の体験もぜひいろんな方に直接伝えていただければと思います。そういった背景も含め、総評させていただきます。

まず活動普及部門小学生の部、環境大臣賞 学校法人国本学園国本小学校さんですが、特に印象的だったのが、資源循環拠点を学校で作っていく、それも色々な人を巻き込んでやっているということで、これは国が次にやろうとしている施策とも合致しており、本当に全国のモデルになる取り組みではないかなと思いますので、この受賞をきっかけに、是非色々なところに広げていただければと思います。

同じく活動普及部門小学生の部 優秀賞のプラネットリーダーズ山内エコクラブさんは、流域を意識した取り組みというのが印象的でした。川から海へ、その間には街も入っていると思います。こういった面的なつながりが、現代だからこそ活動場所を越境してできるということを強く感じましたし、また万博でも発信されたということで、すごく印象的でもありました。

活動普及部門 中学生の部で、文部科大臣賞を受賞されました、金沢大学附属特別支援学校さんは、ダイバーシティ面での評価だけではなく、本当に地道に自分たちの気づきからステップを踏んで取り組まれている様子が本当に心強かったです。これからもぜひ地域の皆さんをリードして頑張っていただきたいと思います。

活動普及部門 中学生の部 優秀賞の劇団シンデレラさんは、実は何度かステージを見せていただきまして、その度にすごく心を動かされました。簡単に言えば、アートとの融合ということかもしれませんが、中身の取り組みも本当に素晴らしいことを痛感いたしました。これからもぜひ活動が続けていただきたいと思います。

企画・研究推進部門では、コカ・コーラ教育・環境財団賞を受賞されました、北海道の岩見沢農業高等学校さんは、本当に地域課題に寄り添っており、そこから考え、しっかり理解して一步一步行われている姿にとっても好感をいただきました。これからも課題を克服されていこうなと感じましたし、また地域内で他の高校と連携をされているのも評価ができるという声もありましたので、今後の皆さんの活動の参考にしていただければと思います。

コカ・コーラ環境教育賞は 1994 年の賞設立以来、環境教育・環境保全活動の促進を目的に、地域に貢献するボランティア活動の助成・支援をおこなっており、これまでの応募団体数は全国で 2,400 団体以上に上ります。

本賞の概要およびライブ配信でおこなった表彰式の模様(後日アップ予定)等は、以下ホームページにてご覧いただけます。

【第 31 回コカ・コーラ環境教育賞特設ページ】

<https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/env-prize/31st/>



(財団井辻理事長による開会挨拶)



(活動普及部門 小学生 環境大臣賞)



(活動普及部門 中学生 文部科学大臣賞) ※画像は指導者



(企画・研究推進部門 コカ・コーラ教育・環境財団賞)

《第 31 回コカ・コーラ環境教育賞 受賞団体活動概要》

【活動普及部門(小学生) 環境大臣賞】

学校法人国本学園 国本小学校 (東京都世田谷区)

課題発見をし、自発的に行動できる本校の子ども達が身近な生活用品の資源循環を通じて、CO₂排出量削減、さらにサーキュラーエコノミーサイクルの一端を担う取組を実施した。その過程で、社会課題をジブンゴトとして捉え、子ども達が発案したプロジェクトが学園だけでなく、地域や企業を巻き込み多くの人々の意識変容を促した。



【活動普及部門(小学生) 優秀賞】

プラネットリーダーズ山内エコクラブ (大阪府大阪市)

プラネットリーダーズ山内エコクラブは、滋賀と大阪を拠点に、水質調査や生き物観察、清掃活動などを通じて、子どもたち自らが地域の自然や環境と向き合い学ぶ団体です。琵琶湖から淀川、そして世界へとつながる川の環境を調査しながら、地球規模の環境課題を考え、学び、発信しています。活動の原点には、「水を守ることは命を守ること」という信念があります。この信念のもと、都市部における環境問題、海プラ等のゴミ問題を上流域の仲間と連携しながら、共に考えメッセージ発信を行なっています。

【活動普及部門(中学生) 文部科学大臣賞】

金沢大学附属特別支援学校 (石川県金沢市)

「海岸にあるプラスチックや PET ボトルごみは、どこからくるのか？」を明らかにするため、2023 年から現在まで継続して SDGs14 番の学習を行ってきた。今年度は海岸のみならず河川の全流域で清掃活動を行い、ごみの動向を探ってきた。その結果、陸域のごみが河川を流れて海に流れ出し、それが海洋ごみになること、排出の原因は、人間であることが明らかになった。

【活動普及部門(中学生) 優秀賞】

劇団シンデレラ (愛知県名古屋市)

「夢と希望と冒険・自然と共に生きる」をテーマとするファミリーミュージカル劇団。

「生きものたちの声を届ける」「SDGs を広める」ことを目標に、森、海、湿地など自然環境の保全や「使う責任」の具体策としての「4R の推進」や脱炭素を目指した「デコ活」など誰にでもできる SDGs をテーマに、オリジナルミュージカルを多数制作・上演している。

【企画・研究推進部門 コカ・コーラ教育・環境財団賞】

北海道岩見沢農業高等学校 (北海道岩見沢市)

冬に降り積もる雪で雪山を造成し、その断熱材として籾殻を被覆することで夏まで雪を保存、雪冷熱として活用する。具体的には、雪山の下に通したパイプに水を流し、冷水となった水を冷媒にしてファンで冷風を創り出すことでハウス内を冷却する。また、断熱材として利用した籾殻はペレットに加工し冬場の暖房燃料として活用する。さらに、その燃焼灰はケイ酸質として翌年の水稻肥料に活用し、籾殻の循環利用による周年栽培モデルを実現させる取組である。

■日本のコカ・コーラシステム サステナビリティ

原液の供給と製品の企画開発やマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売などを担う5つのボトラー会社および関連会社を日本の「コカ・コーラシステム」と呼んでいます。

サステナビリティは、私たちの事業のあらゆる側面に取り入れられており、未来の成長に欠かせない要素といえます。これらの取り組みを通じて、コカ・コーラの使命である『Refresh the World. Make a Difference. (世界中にさわやかさを提供し、前向きな変化をもたらすこと)』の実現を目指しています。

日本コカ・コーラ サステナビリティ公式サイト: <https://www.cocacola.co.jp/sustainability>



■公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団

名 称: 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
英字名称: The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
許可日: 2007 年 6 月 25 日 (※2011 年 9 月 27 日 公益財団法人へ移行)
理事長: 井辻 秀剛
所在地: 東京都渋谷区渋谷 4-6-3
公式サイト: <https://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>
概要: 2007 年 6 月に 37 年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と 14 年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立、2011 年 9 月より公益財団法人に移行しました。心豊かでたくましい人づくり (Healthy Active Life) を理念とし、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな国際社会の形成及び国際親善に寄与することを目的とし、内閣府に公益認定を受け、事業を展開しています。
主な事業内容: 環境教育、奨学支援、災害復旧・復興支援を柱とした各種社会貢献事業

■雨煙別(うえんべつ)小学校 コカ・コーラ環境ハウス

北海道夕張郡栗山町の歴史ある廃校を宿泊可能な施設として再生した「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は、体験型の環境教育プログラムの拠点であり、特定非営利活動法人 雨煙別学校が、自然体験学習を中心とした教育活動を実施しています。2010 年のグランドオープン以来、小学校の宿泊学習をはじめ、大学生の実習やスポーツ合宿、企業研修等、多くの人に利用されています。

公式サイト: <http://uenbetsu.jp/>

